



ジオなひとびと

活動に取り組む“ジオな人”をご紹介します！

Vol.6

さいとう あきら

認定ガイド 齊藤 晃さん



さいとうあきら
齊藤 晃ガイド
(あきやと呼んでください！)

① ガイドになったきっかけは？

蔵王には、子どものころから親に連れられて何度も登りました。今も年に何度か蔵王を訪れて、親しみを強く感じています。蔵王がジオパークを目指していると聞いて、大学で地質を学んだ自分も協力したいと思ったのがきっかけです。

② ガイドとしての目標は？

まずは平易な言葉でわかりやすく説明して、楽しんでもらうことを目指しています。

③ 蔵王のおすすめポイント・好きなサイトを教えてください！

コンパクトなエリアの中に、火山地形の雄大な風景や温泉地での人の営み、田園風景などが凝縮されているのが蔵王の魅力だと感じます。

今のところ、円田盆地と澄川・濁川合流点が好きですが、まだ見たことのないサイトも多いので、これから増やしていきたいです。



澄川・濁川合流点

編集後記

今年は近年まれに見る暖冬。数回だけスキー場に行ってみましたが、やはり雪不足は深刻に感じました…。来季こそは大量のパウダースノーで滑走したいですね。それはそうと、ロゴマークについて、素晴らしい作品をたくさんご応募いただきました。大変ありがとうございました！(松田)

お問い合わせ先

編集・発行 蔵王ジオパーク推進協議会

《事務局所在地》〒989-0892 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦北10番地

蔵王町環境政策課ジオパーク推進室内

《電話》0224-33-3007

《メール》geopark@town.zao.miyagi.jp

ホームページ
SNS

ホームページ



facebook



Instagram



じお★ふあん

Vol. 8 (2024年2月29日発行)



樹氷原
(2020年2月撮影)



一般的な樹氷は、0℃以下の水の粒（過冷却水滴）が、樹木にぶつかり凍ったもの。蔵王では、アオモリトドマツ（オオシラビソ）が着氷と雪に覆われ巨大になったものを樹氷（アイスモンスター）と呼んでいます。



この季節に見てほしい、蔵王ジオパーク構想のみどころやストーリーをご案内！



岩崎山(籠山)

いわさきやまきんくつし
岩崎山金窟址

遠刈田温泉の西側に位置する岩崎山は、金や銀、銅などを含む鉱山の跡で、戦国時代～江戸時代にかけて採掘されたと伝えられています。蔵王火山の活動よりも古い時代の溶岩でできた岩山には、坑道の跡がいくつも残っています。

当時の採掘法は鉱脈をたどって縦にも横にも掘り進める「たぬき掘り」でした。山の至るところに口を開けた坑道は籠の目のように見えたことから「籠山」とも呼ばれており、地域の方や湯治客に古くから親しまれています。

※落石のおそれがあるので十分注意して観察しましょう。



坑道の跡が残る



行ってみよう！

遠刈田公園から歩いて行くことができます。



Information

お知らせ



要チェック！

ロゴマークの投票が始まりました！

蔵王ジオパーク構想のロゴマークを決める投票が始まりました！ぜひご参加下さい！

蔵王ジオパーク構想ロゴマーク 投票

【投票期間】2024年3月17日（日）まで

※ 役場2階環境政策課でもご投票いただけます。

投票はこちら ▶



ジオパークに関連した地域の活動をご紹介します！



樹氷の学習を実施しました

1月下旬、町内3校の中学校の2年生を対象に、樹氷の学習を実施しました。今回の講座では、樹氷のでき方や価値の話に加えて、樹氷のもとになる樹木「アオモリトドマツ（オオシラビソ）」の虫害と温暖化による影響についてもお話ししました。



今年度の蔵王の達人講座が終了しました！

1/27（土）、古代の森研究舎の吉川純子先生による講義が行われ、蔵王周辺の植生や周氷河地形についてお話いただきました。また、2/10（土）には蔵王ジオパーク構想に関する講話と修了式が行われ、37名が講座を修了し、修了証と記念品が手渡されました。

《参 考》
ロゴマーク決定までの流れ ※ 投票はどなたでも参加いただけます

